

平成31年3月16日

足立区立梅島第二小学校

学校長 大塚 信明 様

足立区立梅島第二小学校 開かれた学校づくり協議会

会長 鈴木 昌友

平成30年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

昨年度に引き続き、3つの重点目標「学力向上」、「個の尊重と温かな人間関係の育成」、「体力向上と健康・安全の推進」の達成に向けて、先生方が児童一人一人を大切にしながら熱心に取り組まれていることが伝わってきます。

今年度も運動会、展覧会、持久走記録会など、児童一人一人がめあてをもって、生き生きと活動する姿を拝見し、教育活動の充実ぶりを感じました。

「学力向上」に関しては、昨年度の成果を土台にして、先生方が児童一人一人の能力や課題に応じた指導を充実させる努力をされていることが分かります。確かな学力定着のために、低学年のうちからしっかりと学習習慣や基礎学力を身に付けさせることが今後の課題であることが分かりました。来年度入学する児童を対象に行われた5回の入学体験の成果が楽しみです。家庭での学習習慣や生活習慣の確立については、急に成果が表れるものではありません。今後も家庭や幼稚園・保育園との連携を図りながら、課題の改善に取り組んでいただきたいと思います。図書ボランティアの皆様には、学校図書館の蔵書整備や読み聞かせ等を通して、読書活動を推進していただいていることに感謝します。先生方には、各教科の指導も大変かと思いますが、資源を有効に利用して児童の豊かな情操や読解力、情報活用力の育成に努めていただくことをお願いします。また、児童が自分自身で考える力、自信をもって自分の考えを伝える力を高めるため、確かな学力を身に付けるための一助になるはずです。

「個の尊重と温かな人間関係の育成」に関しては、梅二っ子活動や金管バンド、ミニバスケットボールなど、異年齢集団活動を充実させていることは評価できます。今後さらに充実・向上させるためには、リーダーとなる高学年児童の活躍が不可欠です。特に6年生のみなさんには、きまりやルールを守る姿や下学年児童の模範となる言動、相手の立場に立った言動が、学校内で、地域で見られることを期待しています。金管バンドのみなさんには、町会の行事で演奏して町を明るく元気にしてくれました。今後の活躍が楽しみです。学校では、あらゆる機会や場面を通して、相手を思いやる心の育成、いじめのない学校づくりの推進に尽力してください。

「体力向上と健康・安全の推進」に関しては、児童の体力の状況をつかみ、課題改善に向けた「ルンルンタイム」などの取組が行われていることが分かります。また、放課後の児童の様子を先生方が定期的に見てくださっていることもありがたく思います。今後も学校を挙げて運動することの楽しさを味わわせるとともに、児童一人一人に目標をもたせ、達成に向けての環境整備や学習内容を充実のために、さらなる工夫や改善を行う学校であり続けてほしいと願っています。また、放課後子ども教室「梅ニスマイル」とも連携・協力して、さらなる推進をお願いします。体力も成果が表れにくいものですが、休み時間に先生方が児童と一緒に遊ぶことは、児童一人一人の理解や信頼関係の構築に活かされることと思います。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

児童の皆さんには、自分たちを支え、見守ってくれている人たちに、挨拶を通じて感謝の気持ちを伝えられるようになってほしいと思います。また、私たち大人が範を示すことが大切です。保護者・地域の皆様、先生方には、粘り強く児童への声かけを行っていただくようお願いいたします。

コンピュータやスマートフォン等の情報機器が普及し、児童を取り巻く環境も大きく変化しています。生活を便利で豊かにする一方で、人の心を傷つけたり、良好な人間関係の構築を阻害したりするという負の事案も全国で起きています。児童に正しい使用方法を身に付けさせる必要があります。ご家庭においては、責任をもって利用ルールやマナーについてご指導いただきたいと思います。また、食生活も大きく変化しています。学校給食は、栄養面はもちろんのこと、日本の文化を守るという大切な役割を担っています。今後も日本の食文化を大切にしたい給食献立、指導、家庭への啓発をお願いします。協議会では、日本の伝統文化や本物に触れる体験活動をより一層充実させていきます。

様々な機会を通して、児童一人一人に達成感や満足感を味わわせ、得意なこと、夢中になれることを増やし、一人一人が輝く学校であってほしいと思います。入学から卒業までの6年間を見通し、一貫した取組や指導を行うことが、個人差の解消、学校の一体感につながると信じています。今後も家庭・地域との連携を密にして、知・徳・体の調和がとれた児童を育てていただきます。

3 その他

- ・ 学校だよりや開かれた学校づくり協議会において、教育活動の様子や児童の活躍、学力・体力等の定着の様子について知ることができました。今後も開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が情報を共有し、連携しながら日々の教育活動の充実を図っていただきます。
- ・ 私たち協議会委員一同は、地域の代表として精一杯の協力をしていきます。学校と課題を共有し、共に手を携えて解決に取り組んでいきます。